

編集後記

(61巻 第5号 2015年5月)

皆さんは「2045年問題」というのをご存知だろうか. コンピューターチップの性能が1.5年毎に2倍になると予測した「ムーアの法則」に基づく, 2045年にはコンピューターの性能が人間の脳を超えるという. コンピューターが人間を超えることを「技術的特異点」と呼び, それ以降は人間にとって予測の出来ない世界になるという. その後はいったいどうなるのか. コンピューターが監視とマインドコントロールの技術を用いて世界を支配するようになるという「影の支配者仮説」. 反旗を翻したコンピューター対人間の戦争が勃発するという「聖戦の勃発仮説」などの仮説が立てられている.

もう囲碁も将棋もコンピューターは人間を超えるレベルに達している. またコンピューターチップの性能も「ムーアの法則」に添って向上しているというから, まったく荒唐無稽の話でもない. 医学・医療の世界はどうなっているのだろう. 私はこの世にいない可能性が高いので心配する必要はないのだが….

(小川 修)